

長谷川かな女 俳人。夫の影響で句作を始め，"西の久女"に対する"東のかな女"として，長く女流句界を主導した。
はせがわかなじよ
国民之友始・1887 = 東京日本橋で，老舗銅鉄商今津屋の番頭長谷川福太郎の長女に生まれる。母は名主の娘かめ。本名かた。

帝国憲法発布1889 = 2歳：

日清戦争始・1894 = 7歳：

白馬会・・・1896 = 9歳：
八幡製鉄始・1897 = 10歳：父を失う。

ピアノ国産化・1900 = 13歳：私立小松原小学校高等科を卒業。小松原塾で学び，

日比谷公園・1903 = 16歳：三井家に行儀見習で入るが，心臓病・肋膜炎・結核を病み，辞す。

日露戦争終・1905 = 18歳：正則英学校生徒富田諸三に英語を習う。

伊藤博文暗殺1909 = 22歳：*東京帝国大学薬学科選科に在学中の諸三(長谷川零余子)を婿養子に迎え結婚。夫の影響で句作をはじめ，かな女と号する。夫の友人石島雄子郎の勧めで松根東洋城選の(東京日日新聞)俳壇に投句し初入選，続いて《ホトトギス》の雑詠に投句しはじめる。

明治天皇没・1912 = 25歳：
大正政变・・1913 = 26歳：夫とともに，東洋城門から高浜虚子門に移り，虚子を鎌倉に訪ね，女性に俳句を勧めるための句会「婦人十句集」の幹事として参加する。

第一次大戦始1914 = 27歳：
台所俳句と自ら称し，女性句会の先達として西の久女(杉田)に対して東のかな女と並称される。

大暴落・・・1920 = 33歳：*零余子が《枯野》を創刊すると，これに拠って《ホトトギス》を離れ，
原敬首相暗殺1921 = 34歳：

関東大震災・1923 = 36歳：

共産党事件・1928 = 41歳：夫零余子が死去，《ぬかご》と改題，雑詠の選者となる。直後に自宅全焼し，浦和に転居，没年まで住む。

世界恐慌・・1929 = 42歳：句集「竜胆」，

海軍軍縮条約1930 = 43歳：*六山人と対立し，沢本知水を編者として(水明)を創刊し主宰，零余子の立体俳句を追求する一方，自然に密着した自由詩境に遊び，天衣無縫の句風を確立した。

満州事変・・1931 = 44歳：

五一五事件・1932 = 45歳：

帝人疑獄事件1934 = 47歳：「かな女句集」，

日中戦争始・1937 = 50歳：

第二次大戦始1939 = 52歳：句集「雨月」，隨筆集「ゆきき」，

日米開戦・・1941 = 54歳：

創価学会検挙1943 = 56歳：隨筆集「加賀の千代」，

敗戦・・・1945 = 58歳：

かねて長谷川時雨の輝ク会・林芙美子らの女流文学会とも交流を深め，東京商業学校の講師もつとめた。

朝鮮戦争始・1950 = 63歳：

独立回復・・1951 = 64歳：

55年体制始・1955 = 68歳：句集「胡笛」。浦和名誉市民，

美智子妃・・1959 = 72歳：隨筆集「小雪」，
安保闘争・・1960 = 73歳：

TV宇宙中継始1963 = 76歳：句集「川の灯」
東京オリンピック 1964 = 77歳：「定本かな女句集」，

いざなぎ景気1966 = 79歳：紫綬褒章。

電ヶ関ビック・1968 = 81歳：
全共闘・・・1969 = 82歳：句集「牟良佐伎」。没した。

「日本の女性」，